

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-1	政策名	環境の保全	政策の 目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り暮ら しています	施策 主管課	生活環境課	施策主管 課長名	松原 弘明
	施策No.	2	施策名	自然環境の保全	施策の 目指す姿	自然への理解を深め、自然を保 護する活動を行っています	関係課名	大迫総合支所地域振興課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高山植物の保護など早池峰山地域における自然環境を守る必要があります。 ・早池峰国定公園の利用環境の向上のため、携帯トイレの利用促進が図られていますが、登山者からはバイオトイレ整備を 求める声があります。 ・急激に増殖しているニホンジカによる高山植物等の食害が懸念されています。 ・早池峰山の河原の坊登山道は、平成28年5月に発生した山腹崩壊により閉鎖措置が続いていることから、登山者の安全 確保が必要です。 ・特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退などの生態系への影響が懸念されています。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性)	<ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者 に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。 ・引き続き市内に生息する動植物の生息状況について調査を行うとともに、環境マイスターや自然保護団体等の代表者による意見交換会を 開催し、保全活動の在り方やアンケート調査結果の活用方法について検討する。 ・希少生物の保護について引き続き支援を行うほか、特定外来生物の駆除について広報紙やホームページを活用し周知に努め、生態系の 保全を図る。 ・環境マイスター派遣制度のさらなる周知に努め、新規利用団体の増加を図っていく。
(反映状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園の関係機関や自然公園保護管理員による登山道の整備、高山植物盗採防止パトロールの実施のほか、登山者に対する 携帯トイレの使用などの登山マナーの呼びかけを行い、自然環境の保全に努めた。 ・環境マイスター及び自然保護団体の代表者との意見交換会を開催し、自然環境の経年変化やアンケート調査の方法について検討した。 ・ゼニタナゴの生育環境保全活動を行う団体の活動を支援したほか、広報紙や市ホームページを通じて特定外来生物の駆除について周知 した。 ・環境マイスター制度について引き続き団体等を通じ周知したほか、環境学習講座の開催時など機会を捉えた周知に努めた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)自然保護の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○早池峰山等の自然環境保護と利用環境の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・早池峰国定公園地域における自然公園保護管理員の設置や花巻市、遠野市、宮古市等で構成する早池峰国定公園地域協議会への支 援を実施 ○ニホンジカ食害の防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、関係団体、学識経験者で構成する早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ対策部会で調査情報収集の実施や防鹿柵設置 の支援 ○水質の定期観測 <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質環境を良好に維持するため、定期的な観測を実施 ○希少生物等の保護への支援・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼニタナゴの生息環境保全活動の支援 ・特定外来生物の駆除に関する啓発 ○環境学習などを通じた環境保全意識の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・環境マイスター派遣制度による環境学習支援 ・環境学習講座や水生生物調査を実施
------------	---

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測 ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握す るのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
自然環境を守るため の行動を実際に行っ ている市民の割合 (E- 2)	市民がどれだけの割合 で自然環境を守る活動 に関わったかを示す指 標	出典:市民アンケート 問:あなたはこの1年間に 次のような自然環境を守る 行動を行ったことがあります か?いくつかあてはまる ものに○をしてください。 (1)身近な水辺空間の環境 保全(2)野鳥や生き物が住 める環境づくり(3)自然環境 を守るための学習活動(4) 植樹などの森林の保護活 動(5)住んでいる地域の美 化活動(6)その他(具体例) (7)何もしていない ※1つ以上選択者をカウン ト	%	目標値	63.0	65.0	67.0	69.0	71.0	73.0
				実績値	59.9	62.3	60.6	73.4	71.8	
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	■成果指標「自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合」・・・【達成度a】 環境マイスター派遣事業や環境学習講座の実施、市広報やホームページを通じた啓発を継続した成果が現れていると考 える。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象 直結度	意図	成果
1	河原の坊施設管理事業	大迫総合支所地域振興課	間接・ 少数	直結	-
	河原の坊総合休憩所、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘の維持管理				
2	早池峰自然環境保全活動推進事業	大迫総合支所地域振興課	間接・ 少数	直結	-
	早池峰国定公園地域での自然環境保全のため、自然公園保護管理員を配置(4人) 早池峰国定公園地域協議会の実施する入山式、高山植物盗採防止パトロール(8人)などへの支援				
3	公害対策防止事業(再掲2-1-3公害の防止)	生活環境課	一致	直結	-
	市内の河川水質の定期観測を実施 (37地点 147回)				
4-1	環境学習推進事業	生活環境課	一致	直結	A
	ゼニタナゴの生育環境を保全するため、自然保護活動団体が行う保護活動を支援				
4-2	環境学習推進事業	生活環境課	間接・ 少数	直結	A
	環境マイスター派遣制度による環境学習支援のほか、環境学習講座や水生生物調査を実施 (環境マイスター派遣回数:30回 環境学習講座の開催:6回 水生生物調査:12回)				
5	特定外来生物駆除啓発事務(ゼロ予算)	生活環境課	一致	直結	-
	アレチウリ、オオハンゴンソウ、セアカゴケグモ等の特定外来生物の駆除について広報紙及び市ホームページで啓発 (広報掲載1回、ホームページ随時掲載)				

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし
(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・なし
(新たに取り組むべき事業はないか) ・なし

6 施策の総合的な評価

(課題) ・早池峰国定公園地域においては、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全が図られているが、引き続き登山者のマナーの向上について意識啓発を図る必要がある。 ・市内に生息する動植物の現状を把握するため実施しているアンケート調査が有効活用されていない。 ・特定外来生物の生息域の拡大による在来種の衰退や、生態系への影響が懸念される。 ・環境学習講座のテーマにより参加人数にバラつきがある。
(今後の方向性) ・早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。 ・環境マイスターや市内の自然保護活動団体との意見交換会でいただいた意見を参考に、市内に生息する希少な動植物を保護していくための啓発方法を検討する。 ・特定外来生物の駆除について市広報・ホームページを活用しさらなる周知に努め、生態系の保全を図る。 ・市民の関心が高い、ニーズに応じた環境学習講座となるよう内容の充実を図る。